

# 香港INNOVATIVEユーザ会 定期大会参加報告

鈴木 努 (情報管理課)

2006年暮、香港INNOVATIVEユーザ会 (HKIUG : Hong Kong Innovative Users Group)の第七回年次大会 (7th Annual Meeting) に参加した。本稿ではその概要を報告する。

## 香港INNOVATIVEユーザ会とは？

早稲田大学図書館が提供している「WINE」システムは、本学所蔵資料の目録情報を提供するなど、教育研究活動の基盤をなすシステムである。1998年に更新した現在のWINEのベースになっているのは、米国製の図書館総合システムINNOPACである。この製品は、世界中で約1,000以上の図書館によって利用されている。INNOPACは米国のInnovative Interfaces, Inc. (以下、III社)が開発/販売しており、世界各地で地域別・館種別などのユーザ会が発足している。そのユーザ会の1つであるHKIUGは、香港およびマカオ内の15教育機関 (主に大学図書館) によるグループで、1996年から活動している。

## 年次大会

年次大会の開催は、今年で7回目である。ユーザ会が誕生してちょうど10周年ということで記念大会となった。広東語圏であるにもかかわらず香港の大学では、歴史的事情などから、英語が幅広く通用する。図書館員が集まるこの会議も、発表・討議など基本的にすべて英語で行われる。ユーザ側からのシステム改善要求や、開発側からの情報提供、ユーザ間での情報共有などのため、活発な討論が行われる。早稲田大学は香港で高い知名度を誇っているが、近隣のユーザとして毎年、HKIUGから会議参加の招待を頂いている。そのことにより、本学は初回から参加者を派遣し、事例発表等 (過去3回) も積極的に行ってきた。その結果として今回本学は、「最も協力的な海外の機関賞」を受賞することになった。

## 会議の概要

日程：2006年12月11日～12月12日 (二日間)

会場：香港科技大学

参加人数：約200名

参加地域：香港特別行政区、中国、タイ、日本、フィリピン、米国

## 施設

香港科技大学は、香港の大陸側東端に位置し、海岸から続く丘にキャンパスが建てられている。図書館から海が一望できる (!) すばらしいキャンパスであった。徒歩圏に地下鉄の駅は無いが、九龍半島中心からバスで一時間かからない程である。

## 主な内容 (参加者による発表、得た情報)

Encore (次世代型情報検索システム)

Encoreとは現在III社にて開発が進められている次世代型の情報検索システムの名称である。既存のOPACだけでは現在のユーザは満足していないという視点に立ち、様々なWEB技術 (ソーシャルタギングやレイティング、横断検索など) を取り入れ、現在のOPACの枠組みを越えた情報検索システムを開発している。その中間報告として発表があった。現在、アジア地域で開発パートナーとなる大学を探しているとのことだった。

データベースのUnicode化問題

現在香港のCJKタスクフォースでは、UnicodeベースのInnopacでバグ出しの作業を行っている。それらの解消を待ってから、順次Unicodeへのコンバートを進める予定である。(更に本学では、香港ユーザの成功を待ってから、我々もコンバートを進めたいと伝えた。) また、CJK以外でも文字コードに関する問題が多いことが分かった。タイのユーザもCJKユーザ以上に文字コード関連で苦労しているとのことだった。

電子ブックの提供方法

電子ブック (ebook) を購入する館が増えてきたが、その提供や管理に苦労していることが多い。

香港城市大学では、図書館システムに電子ブックの書誌データを登録する前に重複除去するためにプログラムを組むなどして対応している。

#### Web2.0的な取り組み

Web2.0的な取り組みも幾つか報告され、OPAC群内の特定コレクションに対する横断検索や、LibX（Firefoxブラウザの拡張機能）を用いた新たな情報検索支援ツールなどの事例が報告されていた。

#### 機関リポジトリについて

機関リポジトリは香港やタイでも取り組みが盛んである。特に開催校の香港科技大学は先端校であり、様々な取り組みがなされていた。主担当のK.T.Lam氏と直接会話でき、今後のコンタクトポイントとしても期待できる。香港科学技術大学も本学と同様に機関リポジトリのシステムとしてオープンソースのソフトウェアである「D-Space」を採用している

・図書館システムと機関リポジトリとの連携（博士論文データ等）について、本学と同様に目録データの流用を行っている事例があった。

#### 「最も協力的な海外の機関賞」を受賞

本学はこれまでHKIUGの場で3回（2001～2003）の発表を行い、今回、最も協力的な海外の機関賞（Most Supportive Overseas Institution Award）を受賞した。



#### 雑感

今回で私自身は、HKIUGへの参加が3回目となった。タイとフィリピンから初めて参加者があり、同じ海外からの参加者ということで話をする機会が多かった。香港はまさに東アジアのハブであり、どの国からもそう遠くなく参加しやすいとのことだった（ちなみに日本からは5時間程かかる）。

最後に余談であるが、香港といえば是非ワンタン麺を食べたいと思う方に耳寄りな情報。香港の空港内のファーストフード店（？）にワンタン麺があります。25香港ドルと少し高めですが、確かかつ安心（！）にあります。



「香港IUG10周年記念特別賞」各賞の受賞者たち（右端が鈴木）